

新築、又は消防同意を
伴う場合の記載例

様式第3号

(表)

防火対象物使用開始届出書

年 月 日					
(あて先) 川口市消防長 (川口市—消防署長)					
届出者					
住 所 川口市〇〇町〇丁目〇番〇号					
氏 名 社会福祉法人〇〇会					
理事長 〇〇〇〇					
電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇					
④ 所在地	川口市〇〇町〇丁目〇番〇号 電話番号 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇				
⑤ 名称	介護老人保健施設 〇〇ホーム	⑥ 主要用途	介護老人保健施設		
⑦ 建築確認年月日	〇〇年〇〇月〇〇日		建築確認番号	第〇〇〇号	
※ 消防同意年月日	年 月 日		※ 消防同意番号	第 号	
⑧ 工事着手日	〇〇年 〇月〇〇日	工事完了 (予定)日	〇〇年 〇月〇〇日	使用開始 (予定)日	〇〇年 〇月〇〇日
⑨ 他の法令による 許 認 可	介護保険法第94条第1項の規定に基づく開設許可				
⑩ 敷地面積	〇〇〇m ²	建築面積	〇〇〇m ²	延べ面積	〇〇〇m ²
⑪ 収容人員	従業員等 20 人	※ その他	人	⑫ 公開時間 又は従業員時間	0:00~24:00
⑫ 屋外消火栓、 動力消防ポンプ、 消防用水の概要					
⑬ そ の 他 必 要 な 事 項					
※ 受付欄	※ 経 過 欄				

(裏)

防火対象物棟別概要(第号)	建築面積	○○○ m ²		⑭構造	鉄筋コンクリート造(耐火構造)				
	延べ面積	○○○ m ²		⑮用途	介護老人保健施設				
	種別 ⑯階別	⑰床面積 m ²	⑱用途	⑲無窓階	⑳消防用設備等の概要				㉑特殊消防設備等の概要
					消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上必要な施設	
	1階	○○	事務所 居室等	無窓 普通	消火器 スプリンクラー	自火報 火災通報装置	誘導灯		
	2階	○○	居室・ 食堂等	無窓 普通	消火器 スプリンクラー	自火報	誘導灯 すべり台		
	3階	○○	居室・ 食堂等	無窓 普通	消火器 スプリンクラー	自火報	誘導灯 すべり台	連結送水管	
	4階	○○	居室・ 食堂等	無窓 普通	消火器 スプリンクラー	自火報	誘導灯 すべり台	連結送水管	
	5階	○○	居室・ 食堂等	無窓 普通	消火器 スプリンクラー	自火報	誘導灯 すべり台	連結送水管	
6階	○○	居室・ 食堂等	無窓 普通	消火器 スプリンクラー	自火報	誘導灯 すべり台	連結送水管		
階			無窓 普通						
計	○○								

備考

- 1 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「防火対象物棟別概要追加書」に必要な事項を記入して添付すること。
- 2 (表)面の建築面積及び延べ面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
- 3 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
- 4 建築確認年月日及び建築確認番号は、最終の年月日及び番号を記入すること。
- 5 ※印の欄は、記入しないこと。
- 6 構造欄は、建築物の主たる構造(木造、鉄骨造、鉄筋コンクリート造等)及び、()内には耐火構造、準耐火構造、その他の構造のうちのいずれかの構造を記入すること。
- 7 無窓階欄は、各階ごとに無窓階に該当する場合は「無窓」、無窓階に該当しない場合は「普通」に○をすること。
- 8 防火対象物の案内図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、矩計図及び建具表を添付すること。なお、添付する図面は縮尺の正しい図面を添付すること。
- 9 消防法第17条の3の2に規定する消防用設備等(特殊消防用設備等)設置届出書が該当しない対象物にあつては、消防用設備等に関する設計図書一式を添付すること。
- 10 建築確認申請をしている場合は、確認申請の1面から5面の写しを正本にのみ添付すること。
- 11 シャッター等の水圧開錠・開放装置、簡易自動消火装置、オートロック又はオートロック開錠装置を設置する場合には、その他欄に記載し、平面図に設置位置を記入するとともに、仕様書等を添付すること。
- 12 防火対象物が新築で、開口部のない耐火構造の床又は壁で区画されている場合は、その区画されている部分を図面に明記すること。

防火対象物使用開始届出書 記入要領（新築、又は消防同意を伴う場合）

項 目	記 入 要 領
①年 月 日	届出書の提出年月日を記入します。
②あ て 先	新築 の建物、又は消防同意を伴う場合は消防長あてとします。
③届 出 者	当該事業所の管理について権原を有する者の住所、電話番号、氏名を記入し、押印します。 ●法人の場合は、法人の住所、電話番号、名称、代表者の職・氏名を記入し、代表者の職印を押します。 ●個人企業の場合は住民登録のしてある住所とします。
④所在地、電話	当該防火対象物の所在地と電話番号を記入します。
⑤名 称	当該防火対象物の名称を記入します。
⑥主 要 用 途	当該防火対象物の主な 用途 を記入します。
⑦建築確認年月日 建築確認番号	建築基準法第6条第1項又は建築基準法第6条の2第1項の規定による確認済証に記載されている建築確認年月日及び建築確認番号を記入します。 変更している場合は、最終の建築確認年月日及び建築確認番号を記入します。
⑧工事着手、工事完了、使用開始日	当該事業所の工事に着手した年月日、工事完了（予定）の年月日、使用開始する（予定）年月日を記入します。
⑨他の法令による許 認 可	消防法以外の法令による許認可を受けている場合は、記入します。 例：旅館業法第3条第1項の規定による許可
⑩敷 地 面 積 建 築 面 積 延 べ 面 積	敷地面積、建築面積、延べ面積を記入します。 同一敷地内に2以上の棟がある場合、建築面積、延べ面積はそれぞれの合計を記入します。
⑪収 容 人 員 等	従業員（パート、アルバイト等も含む）の数を記入します。 交代制等で時間によって従業員数が違う場合は、従業員が一番多い時間帯の人数を記入します。
⑫屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の概要	屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水を設置する場合は、その概要を記入します。 例：消防用水 厚生棟西側 20 m ³
⑬その他必要な事 項	シャッター等の水圧開錠・開放装置、簡易自動消火装置、オートロック、オートロック開錠装置を設置する場合は、その概要を記入します。また、平面図に設置位置を記入し、仕様書等を添付します。 例：1階東側：シャッターの水圧開錠装置あり
⑭構 造	建物構造を記入します。 例：鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、耐火構造、準耐火構造、その他の構造
⑮用 途	当該棟の防火対象物の用途を記入します。
⑯階 別	階数を記入します。
⑰床 面 積	階の床面積を記入します。
⑱用 途	階の用途を記入します。
⑲無 窓 階	消防法上の普通階、又は無窓階を判定し、該当する項目に「○」をします。
⑳消防用設備等の概 要	設置される消防用設備等の種類を記入します。
㉑特殊消防用設備等の概 要	設置される特殊消防用設備等の概要を記入します。

※当該事業所が使用する部分の平面図を添付して届け出て下さい。

300m²未満の防火対象物にあつては、消防用設備等の設計図書も添付して下さい。

図面は、縮尺が合っているものを添付して下さい。

※建築確認申請を伴う届出の場合、確認申請書第1面～第5面及び確認済証の写しを添付して下さい。